

2025年5月期 第3四半期
決算説明資料

2025年4月14日(月)
ダイト株式会社

東証プライム：4577

DAITO

目次

- I. FY2025 3Q決算概要 p. 3
- II. FY2025 通期業績予想 p. 10

I . FY2025 3Q決算概要

決算ハイライト

売上高

✓ **366.0億円、前年同期比で+ 19.4億円、5.6 %の増加**

原薬、製剤ともに堅調に推移、特に製剤商品を中心に伸長

売上総利益

✓ **63.7億円、前年同期比で△ 9.1億円、12.6 %の減少**

製品構成の変化、減価償却費の増加、棚卸品評価の影響、円安による原材料費高騰等の影響により減益

EBITDA

✓ **50.7億円、前年同期比で△ 6.2億円、11.0 %の減少**

上述の理由により、減価償却費の増加影響除きのEBITDAでも減益

営業利益

✓ **18.6億円、前年同期比で△ 12.3億円、39.8%の減少**

売上総利益の減少に加え、研究開発費の増加、その他販管費の増加により減益

EPS

✓ **79.73 円、前年同期比で△ 68.62円、46.3%の減少**

営業利益の減少に加え、過年度法人税支払(子会社)等の影響により減少

営業CF

✓ **39.2億円、前年同期比で+ 10.0億円、34.2%の増加**

税引前当期純利益は減少するも、資本コストを意識した在庫管理の高度化等により増加

決算主要項目ハイライト

- 売上高は原薬・製剤ともに堅調に推移し、前年同期比 **+ 19.4億円、+ 5.6%の増収着地**
- 利益面は製品構成の変化、減価償却費の増加、棚卸品評価の影響、円安による原材料費高騰等の影響の増加により、営業利益ベースで前年同期比 **△ 12.3億円、△ 39.8%** と厳しい状況で推移

(単位:百万円、%)

	2024/5期 3Q	2025/5期 3Q	前年同期比増減
	金額	金額	%
売上高	34,662	36,609	+5.6
EBITDA	5,705	5,077	△11.0
営業利益	3,105	1,869	△ 39.8
経常利益	3,122	2,033	△ 34.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,339	1,217	△ 48.0
EPS (円)	148.35	79.73	△46.3
配当金(円/株)	60.00(通期)	70.00(通期予想)	—
研究開発費*	1,726	1,892	+9.6
減価償却費	2,599	3,208	+23.4
設備投資額	7,071	2,999	△ 57.6
為替(円/ドル)	146.1	152.4	—

* 研究開発費には、開発部門の減価償却費、及び当該部門の人件費を含む。

カテゴリー別売上高

- 原薬では商品の増加が寄与し、+4.2億円、+2.6%と堅調に推移
- 製剤では特に商品が+69.6%の大幅増となるも、製品は微増に留まり、全体としては、+15.3億円、+8.5%の増収推移

(単位:百万円、%)

		2024/5期 3Q	2025/5期 3Q	前年同期比増減(%)
原薬 		16,376	16,801	+2.6
	製品*	15,304	15,512	+1.4
	自社品Gx*	13,902	14,139	+1.7
	受託製造	1,401	1,373	△2.0
	商品*	1,072	1,288	+20.2
製剤 		18,135	19,672	+8.5
	製品*	16,871	17,528	+3.9
	自社品Gx	9,883	10,379	+5.0
	受託製造(医療用)	5,103	5,002	△2.0
	受託製造(OTC)	1,883	2,145	+13.9
	商品*	1,263	2,144	+69.6
	Gx	958	1,756	+83.3
OTC	305	387	+26.7	
健康食品		151	134	△11.0
売上高合計		34,662	36,609	+5.6

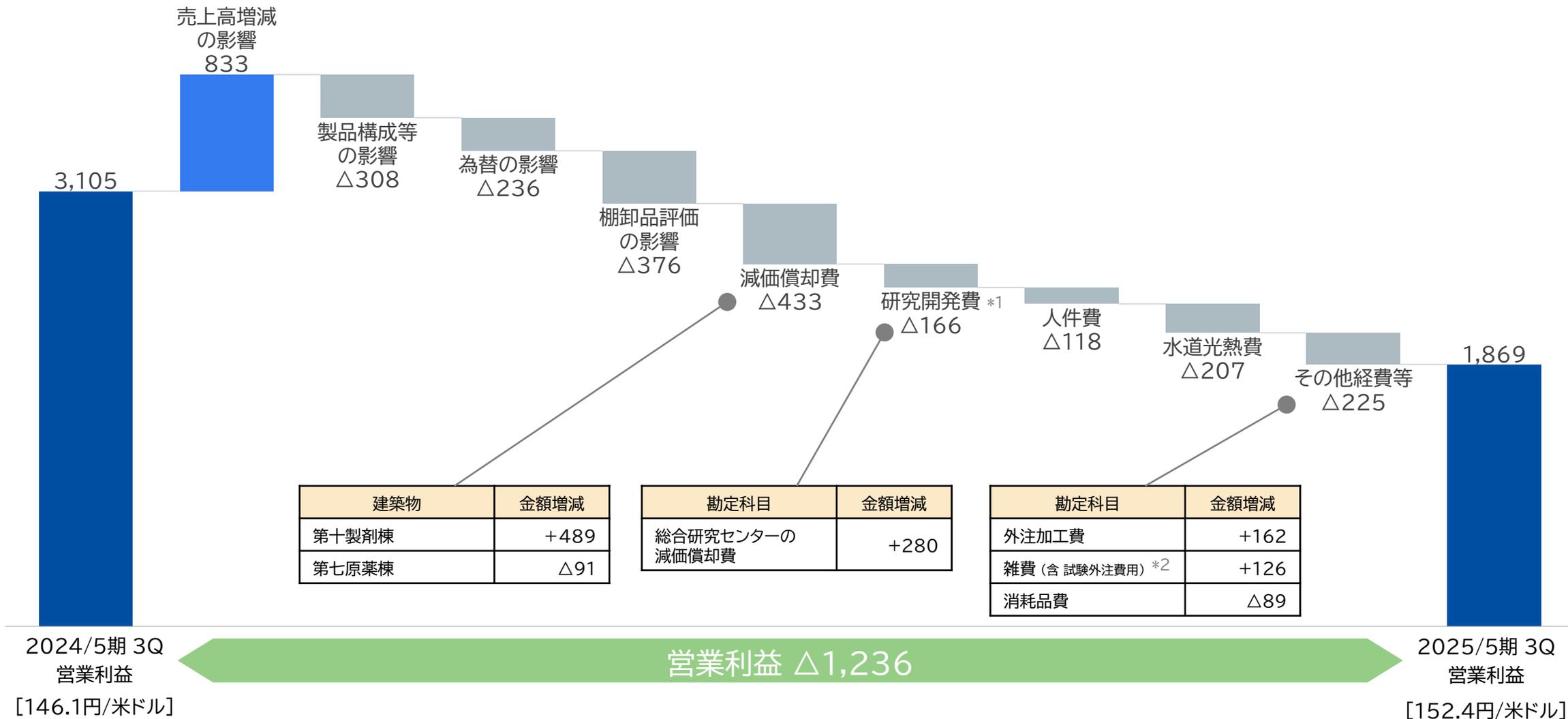
*ジェネリック(Generic) 医薬品

*「製品」とは当社グループ内にて製造または品質保証を行っているもの

*「商品」とは「製品」に該当しない医薬品、原薬、または賦形剤等。いわゆる取扱品

営業利益の増減分析

(単位:百万円)



*1 研究開発費には、開発部門の減価償却費、及び当該部門の人件費の変動を含む。
本チャートの減価償却費には、開発部門の減価償却費を含まない。

*2 うちニトロソアミン対応 +88

要約貸借対照表

- 資本コストを意識した経営方針に基づき在庫の適正化に注力、12期連続で増加を続けてきた棚卸資産が微減
- Gx市場拡大に対応するための設備投資がピークアウト、有形固定資産が減少に転じ、総資産は $\Delta 10.7$ 億円、 $\Delta 1.4\%$ と減少

(単位:百万円、%)

	2024年5月末	2025年2月末	増減率
流動資産	41,460	40,426	$\Delta 2.5$
現金及び預金	2,727	2,379	$\Delta 12.8$
売上債権*	15,399	16,391	+6.4
棚卸資産	20,891	20,732	$\Delta 0.8$
固定資産	36,247	36,203	$\Delta 0.1$
資産合計	77,708	76,630	$\Delta 1.4$
流動負債	18,505	15,195	$\Delta 17.9$
仕入債務*	8,699	7,822	$\Delta 10.1$
短期有利子負債	2,099	3,199	+52.4
固定負債	6,937	9,817	+41.5
長期有利子負債	4,669	7,294	+56.2
負債合計	25,443	25,013	$\Delta 1.7$
純資産合計	52,265	51,616	$\Delta 1.2$

* 電子記録債権、電子記録債務を含み、ファクタリング債権、ファクタリング債務を含まない

要約キャッシュフロー計算書

- 営業CFは、税引前純利益が減少するも、在庫管理の高度化の開始等により打ち返し、前年同期比 +10.0億円、+34.2%の大幅増加
- 投資CFは、主に総合研究センターや第十製剤棟の二期工事の支払時期の到来により、65.1億円の支払超過

(単位:百万円、%)

	2024年/5期 3Q	2025/5期 3Q	前期比増減率
営業キャッシュ・フロー	2,925	3,924	+34.2
税引前純利益	3,440	2,409	△ 30.0
減価償却費	2,599	3,208	+23.4
売上債権の増減額(△は増加)	1,168	△ 1,045	-
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 3,072	119	-
仕入債務の増減額(△は減少)	1,638	△ 877	-
法人税等の支払額	△ 1,369	△ 950	-
投資キャッシュ・フロー	△ 4,036	△ 6,515	-
有形固定資産の取得による支出	△ 4,345	△ 6,093	-
財務キャッシュ・フロー	1,268	2,233	+76.1
短期・長期借入金のネット収支	2,505	3,725	+48.7
現金及び現金同等物の期中増減額	177	△ 348	-
現金及び現金同等物の期末残高	3,785	2,379	△ 37.1

Ⅱ. FY2025 通期業績予想

2025年5月期 通期業績予想の修正

- 2024年7月12日に公表した当期業績予想の下方修正を決定(配当方針は不変)
- 主な背景は、製品構成の悪化、棚卸資産の評価損の増加、各種試験の外注費用の増加、研究開発費の増加等
- 主たる製品構成の悪化は、長期収載品の選定療養制度開始によるGxシフトの効果が当社予想を下回ったことや、中国における自社Gx製品の承認取得及び発売が遅れたもの

(単位:百万円、%)

	2025/5期 前回業績予想	2025/5期 今回修正予想	増減率	(参考) 前期通期連結実績 2024年5月期
	金額	金額	%	%
売上高	49,000	49,000	0.0	46,895
EBITDA	7,800	6,750	△ 13.5	7,553
営業利益	3,500	2,450	△ 30.0	3,894
経常利益	3,500	2,600	△ 25.7	3,923
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,300	1,500	△ 34.8	3,295
EPS (円)	150.39	98.24	△ 34.7	210.00
配当金(円/株)	70.00	70.00	—	60.00